



2014-15年度 国際ロータリー第2790地区

ガバナ一月信

VOL. 11 2015年5月号

COPY FOR MEMBERS
発行/2015年5月1日

RI会長代理と再会 (2015年3月21日 台湾国訪問)

皐月を迎え爽やかな風の中、三大セミナーを終えた櫻木年度が活動を始めました。私から会長の皆さん宛への月信も来月が最終です。例年6月に起こる、年度末退会阻止に向けて心配りをお願いします。例会欠席が目立つ会員へはそっと声をかけて下さい。

姉妹クラブの記念式典に参加するため台湾を訪れました。地区大会でご指導頂いたウィリアム・ツェンRI会長代理を表敬訪問し、様々な思い出と共に旧交を深める事が出来、ガバナーを務めたことでまた一人海外に心の友を得ました。

今月はRI指定の月間テーマが無いので何を書いて良いやら悩み、昔読んだ本から印象に残った一部を要約、抜粋しました。チョット長いですが愚鈍の私にピッタリでした。

「愚直の一念」(渡辺淳一・著)

大学の授業では講義の合間によく雑談をする先生がいて、何故か講義よりその雑談のほうが印象深く記憶に残ることがある。T教授は真面目な先生だが、時に時間が余った時など雑談をされた。面白おかしい話ではない、ほそほそ自分に言い聞かすといった話し方だった。ある時、私達学生に向けて「あなた達は“愚直の一念”という言葉を知っていますか」と聞かれたことがある。私達の困惑する顔を見て「これは私が先輩から聞いた話ですが」と前置きされ話始められた。

かつてといっても大正時代の大昔だが、東大医学部には優秀がひしめきあっていた。当時の医学界では内科が中心だった為、優秀な学生は内科の研究室を希望した。この内科の

医局に“呉”という新米医師が入局してきた。当時、医学部を卒業した医師がどこの医局に入るかは本人の希望であり、受ける医局側も優秀な若手が入局してくる事にこしたことはないが、成績が悪くても拒む理由も無く、むしろ医局員が増えることで医局の勢力が増すので、希望者は全て受け入れていた。そんなわけで呉医師は内科に入れたものの、性格が地味なうえ、秀才とは程遠かったので目立ちもせず、いわゆるその他多勢の末席にいた。

医局に入ると先輩についてひたすら臨床を覚えるのに時間を費やすが、五年も経つと自分の研究テーマが欲しくなる。テーマは将来の学位論文に繋がるもので、殆どの学生が教授から声がかかり貰っているのに、呉医師には一向にお呼びがかからない。自分は鈍才だし目立たないから他人より遅れるのはしょうが無いと思っていたものの、それにしても遅すぎると感じ出した。まさか教授が自分の存在に気付いていないのではと思い、意を決して教授の前に行き「テーマをいただけませんか」と恐る恐る聞いてみた。教授は彼を一瞥し「ヘルツ」とだけ一言いった。「ありがとうございます」と深々頭を下げ、戻ってきた。「ヘルツ」とはドイツ語で「心臓」のことである。ヘルツ即ち心臓をテーマにせよとの話である。当時、心臓の研究は迷路とされており一旦取り組むと容易に抜け出せないことから、優秀な内科医は心臓をテーマにすることは避けていた。こんな難しいテーマをなぜ呉医師に与えたのか、教授の真意は解らないが、おそらくこの男にはどんなテーマを与えても出来ないだろうし、それならいっそ難しいものをもと思っ

たのか、あるいは自分からテーマを下さいと言ってきた態度を不遜と思ひ意地悪をしたのかもしれない。先輩たちは即座に、無理だから、もう一度頼み変えてもらうよう忠告してくれたが、彼は出来そうも無いので変えて下さいとも言えず、文献を集めこつこつ心臓の勉強を始めた。五年が過ぎても先輩が言った通り大変な壁で、調べれば調べるほど解らなくなる。かといって逃げ出す訳にもいかず、同僚は次々と論文を完成させ、学位を取ってゆく。同僚、さらには後輩にまで抜かれても、呉医師は一人ヘルツをいじっていた。いつ出来るかなど考えず、とにかくやるだけである。皆の同情と呆れた視線の中、黙々と続ける姿勢はまさに愚直の一念と云うべきものであった。かくして十年後、彼は心臓と自律神経のメカニズムを発見し解明してみせる。誰もが駄目だとあきらめ、手を引いた鉦脈から金鉦を探しあてたのである。

それを聞いた教授さえ半信半疑だったという。それは自律神経のメカニズムを解明した輝かしい業績であった。この呉医師こそ後の東大医学部内科部長教授となり学士院恩賜賞を受けられた「呉健」その人です。といっさに話された。

T教授は熱の入った口調で「人間は頭が良ければいいという訳でもありません。秀才は頭が良すぎるがために先が見え過ぎて、足元の偉大な鉦脈を見逃してしまいます。呉さんは、なまじっか秀才で無かったために、他に目移りもせず足下を丹念に掘り起こすことが出来たのです。鈍才は弱点だらけですが、秀才にも秀才なりの弱点があります」そして最後「人間にはやはり“愚直の一念”ということが大切です。たとえ愚かでも脇目をせず真っ直ぐに進む。そうすれば、なまじっかな秀才より大きな仕事ができる。私はそう信じて、これまでやってきたし、これからもやっていくつもりです。」と結ばれた。

皆様よりガバナーという立場を賜り、背伸びしながら、愚直の一念と自分に言い聞かせこの一年を過ごした。間もなくゴールが見えて来るだろう。その先にはどんな未来が広がっているのか愚直の一念を胸に、一歩ずつ歩みたい。

国際ロータリー第2790地区
2014-15年度ガバナー

宇佐見 透
(千葉幕張RC)

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま180号)

～今月のトピックス～

- ・寄付金速報 — 下半期も引き続き好調を維持 —
- ・ホームカミングの学友が各地区行事で活躍
- ・モンゴル米山学友会が設立1周年
- ・初めて米山カウンセラーとなって

トピックス詳細につきましては、下記アドレスにてご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight180_pdf.pdf

《今月のピックアップ記事》

モンゴル米山学友会が設立1周年

3月1日、モンゴル米山学友会の創立1周年記念総会がウランバートル市で開催されました。

総会には学友26人のほか、第3450地区ガバナー補佐をはじめモンゴルのロータリークラブ会長、在モンゴル日本国大使館の菊池参事官、ローターアクトクラブ代表など、合わせて36人が参加。活動・収支報告、新会員紹介、日本のロータリアンや奨学生から寄せられたメッセージが披露され、総会は大いに盛り上がりました。

また、日本のオーガニック肥料生産工場を設立し、フレールC会員にもなったベレンレイ・ツェレンミンジンさん(2001-02/寝屋川RC)、新モンゴル工業高等専門学校設立に尽力し、校長となったシルネン・ブヤンジャルガルさん(2010-11/成田RC)の2人が、「今年度最優秀会員」として表彰されました。

▼モンゴル学友会・会長からのメッセージ

この1年間、学友3名が新しくモンゴルのRC・RACに入会したほか、RC・RACとの関係強化に務め、いくつかのプロジェクトにも協力しました。日本から多くのロータリアンがモンゴルへ来訪くださいましたが、私たちはその都度、恩返し的心を込めてお迎えしました。これからも、若く、そして元気あふれる会員が心をつにし、絆を大切に活動していきたいと思ひます。最後に、モンゴル米山学友会の会員が現在50名を超えたことを、日本の皆さんへ喜びの気持ちとともにご報告いたします。

会長 ジャンチブ・ガルバドラッハ

FELLOWSHIP SEMINAR

日時 2015年1月31日(土) 13:30
場所 東天紅スカイウィンドウ

地区管理運営委員会



宮川フェロシップ委員会委員長より宇佐見ガバナーが望んでいる地区ベースによる3つの親睦活動についての説明がありました。

第1は「ロータリーデー」を開催しロータリークラブを多くの方々に知ってもらおう。

第2は「ロータリークラブを活発な趣味の集まりにして大いなる親睦活動の源にしたい」

このことについては国際ロータリーにはROTARY FELLOWSHIP委員会という同じ趣味を通して親睦を図る交流の場があります。相互信頼のもとでの友情は地区内を活性化させる大きな要素になるものと提唱されています。囲碁、将棋、麻雀、切手収集、釣り、ゴルフ、書道、絵画、音楽、茶道、剣道、柔道、空手道等大きな広がりがあり会員増強にも繋がるものと期待を寄せています。地区内においても全てのクラブ会員の友情を深め、職業的またはレクリエーションの活動を遂行するために結束したロータリアンの活動を奨励するため、本年度は宇佐見ガバナーの意向によりフェロシップ委員会が中心となりロータリークラブを活発な趣味の集まりにして大いなる親睦活動の源にしたいと考えています。

第3は地区大会記念「野球大会」の実施です。当地区では長年趣味の野球を通じクラブ間の交流を図っており、毎年千葉マリスタジアム(QVCマリン)にてマリン大会を開催し地区外のクラブにも呼びかけて野球大会としてクラブを超えて地区を超えて多に親睦の輪を広げております。宇佐見ガバナーは2790地区が盛り上がりればこの上もないと『地区大会ゴルフ』があるなら『地区大会野球』があっても良いのではないかと分区単位でチームを作り『地区大会記念野球大会』と銘打って大会を行う予定でございます。これは各分区のガバナー補佐にお願い、及び御協力を得て是非とも実現したいとのガバナーの希望で御座います。何卒皆様のお力添えを宜しくお願い致します。



また、管理運営委員会加藤委員長からは地区内各クラブ

への親睦活動に関するアンケート結果の発表がありました。

アンケート内容は以下の内容でありましたが、回収率約65%とマスメディアの世論調査並みの数字なのである程度参考になるのではないかと思います。

1. 貴クラブでは親睦旅行の事業を行っていますか。

毎年1泊以上の旅行については粗半分のクラブが行っており、日帰りの旅行及び不定期に行うクラブを含むと93%のクラブが行っているようです。

2. 貴クラブではゴルフコンペを開催していますか。

ゴルフコンペは年2回以上行っているクラブが60%、まったく行わないクラブは23%ほどでした。

3. 貴クラブではボーリング大会を開催していますか。

ボーリング大会については86%が行っていないようです。

4. 貴クラブには野球チームが有りますか。

何らかの形で野球をしている、これから取り組んでゆきたいクラブは約1/4ありました。

5. 親睦事業としての酒席を開催していますか。

年に4回以上開催している割合は約1/3のクラブでクラブ内の親睦の中心はやはり「飲み会」なのでしょう。

6. 貴クラブでは他に親睦事業を行っていますか。

このことについては多種多様な形態で各クラブ親睦を深めているようです。



続いて『親睦活動におけるクラブの現状と地区・分区とのかかわり』というテーマでコーディネーター石田善一(市川南RC)パネリスト宮本和夫

(千葉幕張RC) 藤田英司(千葉港RC) 鶴沢宜広(八日市場RC) 田中康雄(市川シビックRC) 土屋大陸(千葉若潮RC)の各氏によりパネルディスカッションが行われました。

地区内42クラブ44名の参加と全クラブの半分ほどの参加でありましたが、普段セミナーにはあまり縁のない親睦委員長さんが多く見えられ、ある意味では有意義であったと思われます。





第38回RYLAセミナーを終えて

RYLA委員会
委員長 三田 英志
(習志野中央RC)

成田ガーデンホテルにおいて10月18日（土）から1泊2日で第38回RYLAセミナーを実施いたしました。今年はロータリアン、交換留学生、ローターアクト、インターアクト、各クラブの推薦参加者で約100名の参加がありました。

多くのロータリアンがRYLAに関心を持ち、積極的に推薦頂いた結果だと感謝致しております。

今回は地区大会が2月実施ということもあり10月実施となりました。

昨年1月、山本美代子習志野中央RC会長より2014年度ライラ委員長をやってほしいと依頼がありました。私のような若輩者がと迷っていた所、崎山パストガバナーから一言「全面的に私が応援する。是非やりなさい」と言われました。又前RYLA委員の高山さん、山崎さんより「三田さんなら出来るよ。私たちが付いている」と力強い励ましを受け委員長を決意しました。

3月より成田市内で月1回のコース作りが始まりました。成田では一度も開催がなく1からのスタートです。地区委員の坪井さん、杉浦さん、ラリー班長の林さん、全RYLA委員の皆様達と、地図上からの制作に入りました。地図上で範囲を決め、2コース考えました。地図上ではある道が実際歩いて見ると行き止まりや、私道、初めて知った赤道等、3月から7月まで8回、第1回実行委員会開催までに完成させるために夜な夜なラリー班長の林さんと話し合いました。

実行委員会が始まり8月より現地確認作業に入ります。通常2月開催なので暑さは全く覚えていませんが今回ばかりは真夏です。ヘトヘトになりながら実行委員皆で5～6kmを歩き検証しました。9月20日に第3回実行委員会があり、次は開催日前日でした。行ってみるとすっかり景色が違い、草は伸び道は無く雑草パワーにびっくりしました。又10月に出てくるスズメバチの被害が成田であり、山コースでは再調査と前日に大騒ぎでした。

10月18日9時15分より受付、登録が始まりました。10時より開会式。

藤崎青少年奉仕委員長の挨拶から研修が始まりま

した。初めての卓話と同様、私の委員長点鐘はドキドキしました。

宇佐見ガバナーご欠席のため、庄司ガバナー補佐が駆けつけ挨拶して頂いた事にお礼申しあげます。

各班に分かれ元アクトスタッフ達の説明の後歩行ラリーの開始となります。

地区委員、実行委員は各配置場所につきミスコースや行き過ぎた参加者の保護に入ります。

初日は大体が完走できず、研修室に戻りユニットごとに検証し2日目のために会議を夜遅くまでしています。中には明け方まで検証していた参加者もいると聞いています。

2日目が始まり参加者皆さんがやり遂げるぞという意気込みでスタートしていきました。

さすがに大体の参加者は完走出来、初日の不安な顔とは違い、笑顔でゴールしている参加者がたくさんいました。

「信頼 検証への再挑戦」のテーマで開催されたRYLAセミナーはコミュニケーションやリーダーシップ等を意識した素晴らしい内容でした。参加者の皆様は、仲間と出会い、お互いを知り、友情を深めながら楽しくグループ活動を経験できたのではないかと考えています。又地区大会では参加者の小菅君の立派に成長されたスピーチを聴き感動しました。

今後ライラリアンとして積極的に活動し社会のリーダーに成長されます事を切に願っています。

最後にRYLAセミナーへの参加者をご推薦頂きましたロータリークラブの皆様感謝申し上げますと共に様々な品物をご提供頂きました皆様にお礼申し上げます



ガバナーノミニーの指名を受けて

ガバナーノミニー 青木 貞雄
(成田コスモポリタンRC)

2016～2017年度ガバナー候補として、ガバナーノミニー（GN）に指名された成田コスモポリタンロータリークラブ（成田CRC）の青木貞雄です。

私は、大学卒業後、日本航空(株)で約40年間勤務しましたが、成田空港の貨物運送取扱分社型子会社「日航貨物ターミナル(株)」に異動となった翌年の1998年8月、前任者の後を受けて、成田CRCに加入しました。

ロータリー活動に関する知識が皆無であった私は、仕事が忙しく、かつ知人もほとんどいないため、当初、口実を見つけては例会を欠席していましたが、会員資格が1業種1社であった当時、退職後も会員であった前任の先輩から会員資格を競合他社に取られるので例会出席率を高めるようお叱りを受けました。これを機に、入会4年目から今日に至るまで、例会出席率14年間連続無欠席を続けていますが、例会・親睦活動等に積極的に参加するようになると仲間が増え、昼・夜を問わず空港外の成田を知ることが出来ました。また、外部卓話者を中心とする成田CRCの例会卓話を通じ、見聞を広めることが出来ました。

地元の間では無いのにとの逡巡はありましたが、ロータリーにNOは無い、但し、成田CRCで活動を継続することが条件と当時の会長に言われ、2004-2005年のクラブ会長を引受けました。その後、職業分類が「国際貨物サービス」から「学校法人」に変わりましたが、約束通り、成田CRCに継続所属しています。成田CRCは会員の仲が良く、活動もクラブ中心のため、私は会員との公私に亘る交流に力を入れて来ました。

しかし、2012年に地区野球リーグの会長を引受けながら、雲行きが少々変わりました。

野球仲間の次年度幹事長を通じて依頼のあった2013-2014年度地区クラブ奉仕委員長兼会員増強委員長を引受けて数ヶ月後には、知己の複数のパストガバナー(PG)より、ガバナー候補を捜しているので立候補するよう勧められました。ガバナーは雲の上の話として丁重にお断りしましたが、昨年春には、所属クラブ会員数が地区最大の70名に達したことも

あってか、クラブを巻き込んだガバナー候補推薦要請が地区よりありました。この時は、ロータリーに対する私の識見では任に非ずとの主張が了解され、私の固辞を理由にクラブが地区の要請をお断りしました。しかし、昨年末に再度要請があった時は、地区にも色々と事情がある中でいつまでも断り続けられないと思うと共に、地区委員会委員長、その後のガバナー補佐等の経験を通じ、ガバナーは個人ではなく、幹事長を始めとする事務局を担う所属クラブの皆さんとの協力によって成り立っていることを知り、私の変心理由を含めて実情をクラブに説明した上で、クラブに対応検討依頼をお願いしました。クラブの置かれている立場を考えてガバナーを出すべしとの意見があった反面、活動が内向きであったクラブに地区の運営が出来るのかとの疑問の声も出ましたが、最終的に、理事会及びクラブ協議会の決議を経て、クラブとして私を推薦すること、及び全会員が一致協力して事の対応にあたることが取決められました。

地区よりGNの指名を受けた後は、会員の中から選出された藤崎政弘幹事長、及び林康博・宮田明俊両副幹事長と4人で、まず、区内クラブへの協力要請挨拶回りの日程調整、幹事団を含めた当面の運営体制等につき、研究・検討に入りましたが、現在、ガバナー候補者の選出を容易にする土壌造りに取り組んだ関口PG、宇佐見ガバナーの流れを引継ぐ桜木ガバナーエレクトより、詳細に亘る諸手続きの引継ぎ、及び経験に基づく指導等をいただき、1年後のガバナー就任に向けた勉強及び準備に着手したところです。

活動の活性化、及び会員の皆さんがロータリアンになって良かったと思えるようなRI第2790地区に貢献出来るよう、勉強に努め、そして頑張ってくださいますので、皆様のご指導、ご支援、並びにご協力を宜しくお願い致します。

サンディエゴでの国際協議会及びGETSに参加して

ガバナーエレクト 櫻木英一郎
(千葉RC)

先の3月号に続いて記憶が薄れないうちにサンディエゴGETSの続きをご報告します。(この原稿を書いているのは2月です)

さて、国際協議会・GETSは3月号に書いたような勉強漬けの時間だけではありません。息抜き、お楽しみというプログラムもたくさん用意されています。毎回の本会議が始まる前には歌手(?)のリードで歌を歌ったり簡単な体操をしたりして緊張と疲れをほぐします。

4回ある晩餐会にも色々な趣向があります。晩餐会は丸テーブルに5組のGE夫婦とテーブルホスト夫婦が座ります。テーブルホストはRI研修リーダー、RI理事、元



RI理事などのRI役員の人達です。席は日本人GEが数組になるように組まれてい

ました。テーブルではホストが皆と言葉を交わすように色々気を遣ってくれます。それでも多国籍なので日本人だけで盛り上がりは申し訳ないという気が先に立ちます。それに気を付け何とか会話をしながら過ごします。これはなるべく多くの国の人に接するようと言うRIの配慮だと思います。晩餐会の進行も日本のように儀式ばったものではなく非常にリラックスした、いかにもアメリカらしいものです。こういう事を楽しみながら大量の料理に取り組みます。アメリカでは肉類の脂身は嫌われるとか。口に入れて嚙んで呑み込むのに少々時間がかかります。全般に食事は「あれは旨かった」というものは少なかったという記憶があります。

3日目の晩には「グランドマーチ」という催しがあります。全員が自国の民族衣装で参加します。ア

メリカ、イギリス、スペイン、インド、メキシコ、タイ、韓国など、見ればすぐに判るテレビ



で見慣れた衣装です。皆、気合が入って大はしゃぎ。日本の夫人連は慣例で和服に統一。待機場では各国の人が入り混じっ



てお互いに写真の撮りあいです。日本組の女性の和服姿は結構評判がよかった。日本の男どもも数人は



和服。私は家内の発案で着物に袴。この袴が外国人には珍しいらしく、私の姿は多くの外国の写真機に納まりました。

時間になると国名のアルファベット順に隊列を組んで、バンドの生演奏の音楽に乗って行進し会場に入場します。だから「グランドマーチ」。RI役員たちが拍手で迎えてくれます。音楽も各国の隊列が会場の入り口から入る時にその国の曲が流れるという配慮もありました。皆がその服装のままの晩餐会です。

5日目、最終日の前夜は「国際祭りの夕べ」です。各国が自国を紹介するダンスなどを披露します。我が日本組は慣例で夫人連の踊り。我々年度は「さくらさくら」の日本舞踊(?)です。

9月の東京のGETSで夫人たちが相談し出し物を決めます。その後に踊りのDVDが送付され、家内はそれを見て練習をしていました。11月の東京のGETSで一回、サンディエゴで一回の全体稽古と一回の舞台稽古を経ての本番です。他の国の出し物はテンポ



の良いリズムに乗った民族舞踊などで会場は大いに沸きます。日本組の時には会場は一転

水を打ったように静寂に包まれ、踊りが終わったら満場の大喝采。この出し物は成功でした。

男どもは何をしたかと言うと、舞台の下で曲に合わせて桜の枝を左右に振るだけ。これだけでも皆が揃わず何度も稽古



をしました。それにも拘わらず本番では男どもを見てくれる人などは誰もいません。

その桜の枝の造花、夫人の踊りの衣装、男どもの法被などはGE夫人達の発案で、担当になった人が作成、注文取り、集金などをしてくれたお陰です。こういう事を通じて日本の34人のGE達、また夫人たちのfellowshipが醸成されます。

国際協議会GETSは勉強もし、新知識も得、世界各国のGE達と触れあい、語り、プレゼントを交換し合うという良い経験であり、大変に楽しい一週間でした。また国によってロータリーの活動、地区の活動の考え方が違う事も少々判ってきました。

当地区の歴代のPGの皆様もこのような経験をされてきたと思います。そして今後もこの経験をするべき人が青木貞雄ノミニーに続いて切れ目なく沢山揃う事を大いに期待いたします。

文庫通信 (331号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報抜粋

- ◎「ロータリー東日本震災復興基金日本委員会活動報告」 黒田正宏編集 2014 47p
- ◎「街を流された方々を診て…」 畑山 徹 [2013] 4p (D.2830地区大会記録誌)
- ◎「ロータリアンとは その1～3」 深川純一 伊丹R.C. 2014 3p (純ちゃんのコーナーPartXIII)
- ◎「ロータリーを輝かせる為には」 朱 秋龍 2015 10p (D.2710地区大会特集号)
- ◎「国際ロータリーにおける中央集権と地方分権」 直木太一郎 1971 3p
- ◎「『職業奉仕』は菩薩の両願」 塚原房樹 2015 1p (D.2510月信)
- ◎「そして賽は投げられた」 久野 薫 2015 1p (D.2680月信)
- ◎「『職業奉仕』の10分スピーチ」 新藤信之 2014 2p
- ◎「職業奉仕の森」 鈴木一作 ー ー 13p
- ◎「ロータリーの倫理的行動指針の変換」 柿沼利明 2012 1p (古河東R.C.週報)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル 3階 TEL (03) 3433-6456 ・ FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

私なりにまとめた RI 戦略計画とその実行

公共イメージコーディネーター補佐 (ARPIC)

RID2570 鈴木秀憲 (吹上 RC)

2001-02年度、国際ロータリーは奉仕の第2世紀を迎え、組織を導く長期的な計画の立案を始めました。「The RI Strategic Plan」当初は長期計画と和訳され、昨今は戦略計画と訳されます。以来この戦略計画は定期的に見直され、更新されています。(Strategic Planの直訳は戦略計画です。長期計画の方が理解しやすいと感じますが、戦略計画とした方が、重要性が高いと感じる様な気がします)

2009年、RI理事会はこの大幅な見直しを行い、RIとロータリー財団が進むべき進路が一致するよう改訂し2010年7月1日から有効としています。

2015年3月30・31日に行われた会員基盤向上セミナーで、ロータリーコーディネーターの金杉誠氏に伺ったお話 (RI戦略項目の3つの項目は夫々関連性を持っている) に自分の考えを加えてまとめました。

RI戦略計画は、3つの優先項目と5つの中核的価値観で構成されます。

3つの優先項目

- クラブのサポートと強化 (ロータリーコーディネーターが支援)
- 人道的奉仕の重点化と増加 (ロータリー財団地域コーディネーターが支援)
- 公共イメージと認知度の向上 (公共イメージコーディネーターが支援)

注目すべき点は、3つの項目は夫々関連性を持っているという事です。

即ち、人道的奉仕をすれば (結果として、世間の関心と評価は高まり) 自ずと公共イメージが上がります。公共イメージが上がると (賛同者が増え、会員増強に繋がり) クラブのサポートと強化に繋がります。クラブが強化されれば (会員が増強されれば) 人道的奉仕が更に進み、その結果公共イメージは上がり、会員が増えクラブは強化されます。つまり、良い循環になるという事です。

この循環は、優先項目の何処から始めても (結果として) 良い循環になります。

大切な事は、先ず自ら始めるという事だと思います。

3つの優先項目には、具体的な目標が全部で16項目明示されています。どれも実現可能な事ばかりです。着手し易い身近な事から始めましょう。

先ずは自分自身が公共イメージの向上を

公共イメージは他人に云われて認識されるものではありません。世間の方々が我々の言動を見て、良いと感じて下さる結果です。

我々の言動とは抽象的な表現ですが、具体的には戦略計画を構成している5つの中核的価値観を、ロー

タリアン個々が大切に磨き実行する事であると思います。

○奉仕 私達ロータリアンの重要な要素です。RIを通じて、或いは地区で、或いはクラブで、若しくは個人で奉仕する喜びを実感しましょう。

○親睦 ここで指す親睦は、単なる飲み食いや遊びによる親睦だけでは無く、奉仕を共に行う事によって心の底から得られる親睦です。場合によっては民族や国家をも超えて得られるものも有ると思います。

○多用性 私達の生き方は様々です。職業も色々です。環境も仕組みも色々あります。自分の考えや身近の方々の考えだけでは無く、多種の方々の存在や考えを認め、理解し合う事が大切です。地域や国を超えて理解し合う事で、自分自身の世界も広がると考えます。

○高潔性 ロータリアンは、仕事に於いても、人間関係に於いても常に高い倫理観を以って活動しています。これは他人に押し付けるものではなく、自分で実践するのみです。黙っていても他人は観ています。

○指導力 ロータリアンは、夫々が夫々の分野に於いて優れたリーダーです。指導力を更に磨き、ロータリー活動に、或いは職業の場で、或いは地域社会に於いて、この指導力を遺憾無く発揮しましょう。

最後に会員増強について一言

会員増強は、どんな組織にとっても必要な事です。

しかし、大切な事は、会員増強を会員数が少ないからと云う組織の都合で行うのではなく、ロータリーへ入会して頂いて「私達と一緒に良い事をしましょうよ。」と云う気持ちやお誘いの呼びかけが無くてはならないという事です。

○ロータリーに入会すると

- ・素晴らしい考えや実績を持つ方々との出会いがあります。
- ・自分や職業を高める機会を得られます。
- ・自分の住む地域に貢献する行事に、参加する事が出来ます。
- ・世界に於いて、困っている事を解決する行事に参加する事が出来ます。

こんな考えで、共に奉仕できるメンバーをお誘い頂きたいと考えます。

例会場変更のお知らせ

船橋南ロータリークラブ

移転日時 2015年5月13日(水)より

移転先 船橋グランドホテル 船橋市本町7-11-1(事務局住所も同じ)

電話番号 047-425-1121 FAX番号 047-424-9488

例会日(水曜日)および時間(12:30~)は変更ありません。

事務局電話番号及びFAX番号変更のお知らせ

成田コスモポリタンロータリークラブ

2015年4月20日(月)より

事務局電話番号及びFAX番号 0476-24-5044

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付 年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



福田 良博
(八千代RC)
5回目



宮野 宗雄
(八千代RC)
5回目



金野 正敬
(市川シビックRC)
3回目



佐瀬 和年
(成田RC)
3回目

(ポール・ハリス・フェロー)



戸館 裕一
(市川シビックRC)



山本 則之
(市川シビックRC)



尾形 文貴
(千葉幕張RC)



加登 章司
(船橋RC)
3回目



杉 晟
(八千代RC)



高橋 竜一
(松戸東RC)



辰田 享一
(市川シビックRC)
1回目

恒久基金 (ベネファクター)

米山功労者



崎山 征雄
(習志野中央RC)
12回目



清松 植男
(鎌ヶ谷RC)
6回目



宮野 宗雄
(八千代RC)
5回目



平山 秀樹
(成田RC)
4回目



佐野 忠信
(八千代RC)
4回目



松田 泰長
(成田RC)
3回目



福田 良博
(八千代RC)
3回目



信太 秀紀
(銚子RC)
2回目



齋藤 敏夫
(八千代RC)
2回目



大中 宏道
(八千代RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



小林 義和
(柏南RC)
弁護士
2月10日入会



大澤 康人
(野田RC)
行政書士
3月2日入会



高梨 綾子
(野田RC)
不動産賃貸
3月2日入会



安部 健司
(新千葉RC)
総合建設業
3月4日入会



大竹 和子
(習志野中央RC)
花工藝
3月5日入会



見付季代子
(柏西RC)
社会保険労務士
3月6日入会



田中 健二
(松戸西RC)
農業生産法人
3月11日入会



栗原 寿
(柏西RC)
証券業
3月13日入会



川島 誠司
(船橋RC)
旅行業
3月24日入会



中野 龍介
(新千葉RC)
広告取扱
3月25日入会



普天間 操
(千葉南RC)
ホテル
3月27日入会



山本 誠司
(君津RC)
窯業
3月30日入会



鈴木 裕史
(千葉RC)
建築
4月6日入会



岩田 丈
(千葉RC)
建築
4月6日入会



吉田 正子
(千葉RC)
損害保険
4月6日入会



勝澤 誠
(千葉RC)
損害保険
4月6日入会



荒木 行雄
(袖ヶ浦RC)
事務所用品
4月6日入会

R I 第2790地区 (千葉) 2015年3月出席・会員数報告

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第1分 区	市川	100.00	4	39	0	40	0	1
	市川東	100.00	5	41	0	41	0	0
	市川南	75.00	4	17	2	17	2	0
	浦安	87.20	4	33	0	37	1	4
	市川シビック	85.57	5	34	0	36	0	2
	浦安ベイ	68.75	4	15	0	16	0	1
第2分 区	船橋	90.22	4	23	0	25	0	2
	船橋西	83.52	4	41	5	39	5	△2
	鎌ヶ谷	81.73	4	26	2	29	2	3
	船橋東	73.20	4	28	2	29	1	1
	船橋南	73.33	4	20	4	19	4	△1
	船橋みなと	75.15	4	20	5	20	5	0
第3分 区A	千葉	86.63	5	66	1	67	1	1
	新千葉	82.23	3	43	0	49	0	6
	千葉西	74.46	4	63	5	62	4	△1
	千葉中央	80.32	4	34	0	34	0	0
	千葉幕張	75.00	4	37	3	38	3	1
	千葉東	70.31	4	31	4	31	3	0
第3分 区B	千葉若潮	77.78	4	29	2	31	2	2
	千葉南	75.16	3	49	6	52	7	3
	市原	75.00	3	42	2	44	2	2
	千葉港	80.95	4	26	1	24	1	△2
	市原中央	77.50	5	50	2	47	2	△3
	千葉北	63.63	5	23	2	22	1	△1
第4分 区	千葉緑	63.89	4	26	3	27	3	1
	木更津	69.69	4	34	3	32	3	△2
	上総	69.44	4	18	0	18	0	0
	富津	96.88	4	14	0	16	0	2
	富津中央	80.20	4	24	1	26	1	2
	木更津東	82.32	4	40	0	41	0	1
	君津	89.75	5	39	1	44	1	5
	袖ヶ浦	93.48	4	21	3	22	3	1
第5分 区	富津シティ	76.70	4	14	1	15	1	1
	館山	82.85	3	59	3	57	3	△2
	鴨川	92.38	4	35	7	34	7	△1
	勝浦	93.39	4	36	5	34	4	△2
	千倉	74.01	3	10	1	9	1	△1
	鋸南	85.70	4	14	1	14	1	0
第6分 区	館山ベイ	70.53	4	20	0	20	0	0
	茂原	93.44	4	57	3	60	3	3
	東金	100.00	3	21	1	23	1	2
大原	69.10	4	19	3	18	2	△1	

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第6分 区	大多喜	89.28	4	7	1	6	1	△1
	成田空港南	95.70	3	35	0	35	0	0
	茂原東	91.66	4	22	2	22	2	0
	茂原中央	79.04	4	14	2	13	2	△1
	大網	83.33	4	29	1	30	1	1
	東金ビュー	59.80	4	25	1	23	1	△2
第7分 区	銚子	80.84	4	42	4	44	4	2
	旭	77.32	4	43	2	43	2	0
	八日市場	83.40	4	40	2	41	2	1
第8分 区	銚子東	73.43	5	39	2	40	2	1
	佐原	78.98	4	44	0	47	0	3
	多古	69.23	4	14	0	14	0	0
第9分 区	小見川	86.36	3	21	0	22	0	1
	佐原香取	85.68	5	27	0	28	1	1
	成田	73.15	4	66	1	63	0	△3
第10分 区	八街	85.30	4	30	1	32	1	2
	印西	89.28	4	24	0	24	0	0
	白井	71.00	5	17	0	20	0	3
	富里	69.82	4	27	0	29	0	2
	成田コスモポリタン	70.04	4	70	0	67	0	△3
	柏	76.00	4	49	9	51	9	2
第11分 区	我孫子	78.00	5	26	1	24	1	△2
	柏西	82.30	4	59	4	60	5	1
	柏東	90.33	4	28	3	30	3	2
	柏南	84.00	4	32	5	34	5	2
	習志野	80.86	5	28	1	27	1	△1
	八千代	84.67	3	46	0	47	0	1
第12分 区	佐倉	62.96	3	17	2	18	2	1
	八千代中央	79.60	4	27	0	28	1	1
	四街道	83.92	5	25	3	23	2	△2
	習志野中央	66.60	4	48	5	51	6	3
	佐倉中央	65.79	4	18	3	19	4	1
	松戸	89.49	4	56	0	58	0	2
第13分 区	松戸東	90.24	4	48	0	47	0	△1
	松戸北	81.01	5	37	0	38	0	1
	松戸中央	84.21	4	31	1	39	6	8
	松戸西	80.83	4	24	0	30	0	6
第13分 区	野田	80.60	4	55	5	58	7	3
	流山	76.00	4	16	4	16	4	0
	野田東	82.26	4	31	0	31	0	0
	流山中央	86.83	5	22	0	23	0	1
野田セントラル	75.70	4	24	0	24	0	0	

物故会員 (敬称略)



江口 一雄 (八千代RC)
 逝去日: 2014年11月27日 (享年77歳)
 入会日: 1971年10月1日



小関 邦夫 (旭RC)
 逝去日: 2015年2月27日 (享年82歳)
 入会日: 1984年9月7日
 1987-1988 クラブ副会長
 1998-1999 クラブ会長



葉丸比呂志 (木更津RC)
 逝去日: 2015年3月30日 (享年99歳)
 入会日: 1962年9月6日

クラブ数	84RC
2014年7月1日	地区会員数 2,714人
2015年3月末日	地区会員数 2,778人
2014年7月1日	地区女性会員数 149人
2015年3月末日	地区女性会員数 155人
当月平均出席率	80.85%
増減	+64
女性会員増減	+6

5月のロータリーレート

118円

第2790地区内 クラブ バナーの由来

富津シティロータリークラブ

当クラブバナーは、わが郷土富津は、富津岬と緑の松林と紺碧の東京湾を、対岸に富士山を仰ぎ、大自然の美しさと、人々の生活の歴史を永遠に語り続けたく、地元の美術家梅田哲男氏により作成された公民館の緞帳を基に作成されたものです。



市川シビックロータリークラブ

1905年、ポール・ハリスをはじめとする創立メンバーによっていくつかの名称が提案される中に「chicago civic club」の記録が残されています。新クラブを創立するに当たって、投票の結果、このcivicの文字を入れた「市川シビックロータリークラブ」に採択した。白地に市川市の黒松を左方に、市民が集まっているシルエットを下方に、クラブカラーの緑色でデザインしたものである。



茂原中央ロータリークラブ

太平洋の青を背景に、緑の地図は房総半島、白い建物は日蓮聖人が開山した藻原寺（そうげんじ）の山門です。隣接する茂原公園は桜の名所であり、園内の池の中島に祭られている弁天堂は赤い欄干で結ばれています。慈愛と風光美を描いています。



船橋みなとロータリークラブ

平和を願う心を緑で
会員の力強い協調を波で
クラブの格調を高める姿をSTEP状に
それぞれ表現しました。



館山ベイロータリークラブ

館山ベイロータリークラブは千葉県最南端に位置する館山市に誕生しました。私達メンバーは南房総の文化、経済の中心地としての誇りを持って、地域とのより良い関連を考えています。

館山湾の風景は「絶品」であるばかりでなく、三方を陸で囲まれた環境から波静かで機能的にも優れた、かけがえのない財産です。将来に向かって、この財産をどう活かすかが私達の使命です。

これからは館山湾の時代と考え「館山ベイロータリークラブ」を名乗ることにしました。

バナーは遠く富士を眺望する館山湾を模し、大きくはばたくカモメはメンバーの気概を表します。色調はきれいな海と空の青さ、自然の多い房州の緑を配しました。全体として房州の素朴な気風と、軟らかさをイメージしたつもりです。

これは「例会場から見える風景」そのままでしょう。



成田コスモポリタンロータリークラブ

国際ロータリーのロゴマークに使われている金と紺を使い、成田コスモポリタンロータリークラブとJAPANを文字にしました。

躍進する成田のNを斜め左上に向かう角度で表現しています。また、Nの色は、国際性、上昇性の意味をもつスカイブルーです。

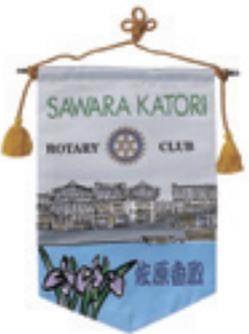
スカイブルーのNにリングを組み合わせています。このリングは、ロータリー（回転）の輪であり、協調と交流の意味を込めています。また、回転する軌跡のリングでもあり、国際的、世界的に協調と交流の輪を広げようとするコスモポリタンの理念を表わしています。

地図はコスモポリタン（世界的な）の視点をもつ当クラブの理念からの世界地図です。また、ブルーのネットは、情報回路のネットワークをデザインしたものです。国際都市成田の情報ネットワークを意味しています。



佐原香取ロータリークラブ

佐原香取ロータリークラブのバナーは当地区の観光名所であり東洋一とも評される水郷佐原水生植物園のアヤメ、菖蒲をかたどり水郷の水色を基調にし、国選定文化財の香取市佐原伝統的建造物群保存地区の古い街並みをあしらったバナーとなっています。



行事予定（5月）

10日(日)	14:00	ロータリー青少年オリエンテーション	千葉市民会館
13日(水)	10:00	第48回インターアクト指導者講習会	千葉市ポートパーク
17日(日)	13:30	第6回ロータリーアクト合同会議	市原
19日(火)	9:00 受付	RLIパートⅢ	千葉市民会館